

新学習指導要領

10月の学校だよりの原稿に何を書こうかと考え、ちょうど1年の折り返しに当たる時期なので、「3つの『あ』」について書き始めました。ふと気が付いて、昨年度は何を書いたのかなと確認したところ、なんと「あいさつ あんぜん あとしまつ」について徹底していきたいということを書いていました。同じ頃に同じことを考えるものだなと驚きました。ということで「3つの『あ』」については引き続き、よろしくお願いします。



来年度から新学習指導要領が全面実施されます。教育に携わる者にとっては重大なことですが、ご家庭の皆様から見れば、授業時数が変わるのか（帰りの時刻が遅くなるのか）、行事は増えるのか減るのかというようなことがご心配なのではないかと思えます。

結論から言いますと、前にお知らせしたように3年生以上の時間割が少し変わり、帰るのが遅くなります。行事等は現時点では、大きな変化はないかと思えます。（昨年度お知らせしましたが、6年の冬季野外活動は本年度までとなっています。）

では、新学習指導要領で大きく変わることは何なのかということ、**「量から質への転換」**ということではないかと思えます。難しいことを言えば、いろいろあるのですが、根本のところは、**「何ができるようになるか」「どのように学ぶか」**というようなことが重視され、これまでの**「〇〇を教える」**という形のものではなくなっています。

小学校教育に関していうと大きく授業が変化するわけではなく、これまでやってきたことを活かし、**「主体的な授業になっているか。」****「対話的な授業になっているか。」****「深い学びになっているか。」**というような視点で授業を改善していきます。これからも子供たちのために分かる授業を工夫するつもりですので、よろしくお願いします。

